

13139 小児保健実習 a、b Practicum in Child Health			3 年次～ 前期 1 単位
担当者	中村 朋子	履修可能学科	Pc
		関 連 資 格	保育必(P c)
サブタイトル	小児保健活動に共通する養護・看護技術の習得		
授業内容 ・ ねらい	小児保健Ⅰ、小児保健Ⅱで学んだことを中心に実習を通して学習する。 養護・看護援助・技術は経験による知識の積み重ねによって作られてきたもので、安全と安楽を中心にしている。 1 健康状態・発育発達の把握の方法 2 日常生活を行う上での養護・看護技術 3 基本的な看護技術と症状に対する養護・看護技術 4 医療的ケア 5 救急処置 などについて学習する。		
授業計画	1 小児看護・養護・ケアとは 2～4 健康状態・発育発達の把握方法 健康観察、生理機能の観察、測定 身体発達の測定 身長・体重・胸囲・視力・聴力等の測定 体温・脈拍・呼吸・血圧等の測定 5～7 日常生活の養護・看護技術、健康生活と環境 温度・湿度・照明の測定 室内の清潔・消毒、身体の清潔 沐浴や入浴の援助、衣生活の援助、栄養・食事の援助	8～10 排泄の援助、睡眠・休息の援助、医療的ケア 基本的な看護技術と症状に対する看護 手洗い、ベッドメイキング 薬の与え方、電法 発熱・腹痛・下痢・嘔吐・けいれん・発疹等の 症状等に対する看護 11～14 救急処置 創傷・打撲・熱傷・異物等の応急手当 止血法、包帯法、運搬法、AED、救急蘇生法等 まとめ 15	
教科書 参考書	教) 小林美由紀『小児保健実習ノート』（診断と治療社、2009）		
評価方法	実習時のレポート、期末試験		
事前準備学習 履修条件等	実習など事後に繰り返し復習してほしい。		